



今月の定点観測

2012年12月1日(土) 実施/第384回

毎年秋冬のトレンドが先行して台頭する10~11月の東京のストリートが過ぎ、12月は本格的に今シーズンのトレンドがまちに浸透する季節である。そこで今回は、2013年春のトレンドアイテムになりそうな「女性の靴」の概況に注目することにした。

ひとつは、07~08年ごろ男性の間で高級靴ブームをきっかけとする履き口の深い「マニッシュ靴」のトレンド。当時幅広く認知されたチャーチヤジョンロブ、クロケット&ジョーンズ、オールデンといった欧米の高級紳士靴ブランドが、テン年に入り、一部の大人の女性にも着用され、ちょっとしたブームになっている。実は、11年9月に実施した定点観測のズームアップアイテムとして取り上げているが、90s生まれの若者には、ファストファッションブランドやドメスティック系のアパレルブランドが支持されていた。

2つめは、今年に入り急増している「厚底靴」。トップメゾンからは09年の春夏に提案され、ファストファッションブランドや09系からリリースされており一部で着用されていたが、東京のストリートではNADIAなどが火付け役となった厚底スニーカーのブームからの影響が大きい。アッパーからソールまでが一体となったものなど、「足長効果」があるものも支持されている要因のようだ。

3つめは、コンサバミックス系に支持されているべたんこのオペラシューズやレベットのようないエッセンスや、軽くて暖かいという機能面から定番となったムートンブーツ。

このように、今シーズンの「女性の靴」は、いずれも色は黒で、デザインもシンプルだ。フレッピー崩れの80年代後半に流行ったマニッシュ靴トレンドのリバイバルと、90年代に流行ったストリート感溢れる厚底靴のトレンドのリバイバル、そして、「やっぱり便利消費」とも言うような3つの「消費者心理」が同時に表れており、「マニッシュ靴=脱フェミニン、上質」、「厚底靴=90sストリート」、「べたんこ靴、ムートン=リラックス、日常」といった記号で説明できそうだ。

続いて、今シーズン一気全国トレンドとなった「スヌード」は、イギリスが発祥の地で、ニット素材のヘアバンド~首巻きものの総称だそう。実は、90sに一部のトップモードからリリースされていたが、当時その名称は輸入されていなかった。それが今シーズンは、ニットのトレンドを背景に、ラメ糸やファー、モヘアなどを盛り込み=デザインし、「新アイテム」として各メーカーがこぞってリリースし、マストトレンドとなった「仕掛け手によるトレンド」といえる。

最後は「赤」。実は11年11月に「赤リップガール」という名称で取り上げているが、その「差し色の赤」のセクシー&キュートなスタイルは当時90s生まれの若者だけのトレンドだった。それが、約1年が過ぎ、タイトやアウター、靴、バッグなど、さまざまなアイテムが登場。そのほとんどが「黒」とのバイカラー・コーディネートで着用されており、見た目の印象も着用する気分も、「カワイイ」から「カッコいい」への移行が本格的になってきたことが確認された。

■調査概要:

◎実施日:2012年12月1日 ◎観察場所/時間:渋谷、原宿、新宿/12:00~18:00

⇒つづきは、ウェブで(<http://www.web-across.com>)

発行日/2013年1月1日 企画・制作・発行/株式会社バルコ「ACROSS」編集室 高野公三子、中矢あゆみ、菅原三知代、渡部彩子/本橋康治、アートディレクター/芦澤みほ
<http://www.web-across.com> 〒150-0045 東京都渋谷区神奥町8-16 渋谷ファーストプレイス tel/03-3477-5711 mail/info@web-across.com
 本誌の記事・デザインの無断転載を禁じます。こちらからもダウンロードできます <http://www.web-across.com>

カウント アイテム (今もっとも流行っているアイテムやスタイル、色など)

女性黒靴着用、うちローヒール&プラットフォームソール
 消費者心理は“新定番”と“90sストリートリバイバル”、“やっぱり便利”の3つ



1 ロッキンボースのようなアッパーからソールまでが一体型の厚底靴も多い
 2 プレシャス世代からは80s生まれにまで下りてきたトリーパーチはコンサバ系OLの定番
 3 厚底スニーカーも今年は80s生まれにまで下りてきたトリーパーチはコンサバ系OLの定番
 4 刺さりそうなほど鋭いスタッズが過剰にあしらわれたマニッシュ靴は来春増えそう

ズームアップ アイテム (今はまだ数が少ないが、今後増えそうなアイテムやスタイル、色など)

1 スヌード

ネーミングとリデザインで新アイテムに



モコモコしたルーベニットのスヌードとニットアウターでビッグシルエットが今年流
 なんとライトオンで購入したスヌードはたったの1,000円だったそう

2 赤

キュート&ガリーはテン年代の女子カルチャーの象徴?



ニットJKはおそらくアレキサンダーワンのもの。スクエアシルエットでマニッシュ&キュート
 黒シャツのプリントに赤があったので古着で買ったスカートと合わせたというゆるグラジな大学生。スカート男子は来春以降増えそう。

ストリートのユースカルチャーと山の手のコンサバ感、地元住民とカルチャーコンテンツを求めて外部から集まる人々など、多彩な人々がゆるやかなコミュニティ感に集まっているのが下北沢の魅力なのである。

テン年代になり、90年代ストリートカルチャー復権のムーブメントを背景に、今後どんなに開発が進んだとしても、きっとこのバランスが崩れることはないだろう。そんなちょうどいい“ゆるタウン・パワー”がここ下北沢には備わっている。

[取材/マップ作成:アクロス編集室、イラストレーションマップ:尾黒健二、文:本橋康治、高野公三子]

シモキタが演劇のまちとも言われる所以は、この「本多劇場」の存在が大きい



シモキタ独特のゆるカルチャーが気に入ったポスト団塊ジュニア世代の女子3人でオープンした“定食屋”「山角(さんかく)」

ちょうどいいまち

“ゆるタウン・シモキタ”2013

“買う”だけでなく“交換”することもできる古着ショップ「NEW YORK JOE EXCHANGE」

演劇、音楽、古着、サブカル、カフェといったワードとともに語られることが多いまち、下北沢。大型商業施設や最先端の新規ビジネスというような派手な動きはないものの、実は近年、「ACROSS」の取材記事として登場頻度が高いまちの1つである。

現代の「ファッション」を捉えるとき、モードやアパレルの動きだけでなく、カルチュラルスタディーズ的な視点が欠かせないように、渋谷や新宿、銀座等の動きを見ているだけでは、「今の時代のリアル」を考察することはできない。なぜなら、「まち」はメディアであり、その担い手は、デベロッパーや大手企業だけではなく、私たちひとり1人の日々の営みだったりするからである。

そういう「ひと」視点を、私たちはしばしば忘れてしまいがちななか、渋谷、新宿のいずれにも近く、なおかつ独自の地域文化を保持している下北沢をフィールドワークし、取材することで、2013年以降の新しい価値観と出会った。

編集室主宰によるフィールドワークは11月18日(日)に実施した。天候は晴れ。最高気温17℃、最低気温10℃だった。事前のリサーチにより作成したマップを片手に有志約13名が北口~一番街~南口を回遊。下北沢エリアにこの4~5年にオープンしたショップを中心に、「古着/アパレル」「カフェ/レストラン」「その他:書店/CD/ライブハウスなど」の3ジャンルでプロットし、本

誌中面のマップ(3ページめに拡大したものがご覧になれます)にまとめた。

これを見ると、チェーン店が多く、物件開発の余地が少なくなった南口よりも、新規出店の重心が北口側に移っていることがわかる。

中でもACROSSで注目しているエリアが、古くからの商店街「下北沢一番街」だ。銭湯をリノベーションした古着店「NEW YORK JOE EXCHANGE(ニューヨークジョー・エクステンション)」



連日、開店前から服を売りに来る若者で賑わうNEW YORK JOE EXCHANGE。開店後1時間もするとこんなにたくさんの服が“仕入れ”られる。

シモキタ最高!



このリュックは NEW YORK JOE EXCHANGEで買いました!(20歳/92年生まれ/大学生)

ガレージを小分けにしたスペースに若い起業家たちによる個人商店がひしめく「東洋百貨店」。



今もっとも注目すべきはここ、「下北沢一番街」!



シモキタ文化圏が環七まで広がる? シモキタから新代田に移転したギャラリー\$カフェの「Commune」

「絶版玩具専門店」という業態があるのもシモキタらしい「2丁目3番地」

目指すは「これからのまちの本屋さん」とあえて南口の雑居ビル内にオープンした「B&B」。オーナーは、博覧堂ケトルの嶋さんとブックセレクターの内沼さん



シモキタ大好き♡



かつてシモキタのシンボルだった下北沢駅前食品市場のDNAをどのように残すのかが注目される



シモキタと原宿が好き! Haight&Ashburyによく行きます(19歳/92年生まれ/専門学校生)



本マップは3ページめにA3サイズの拡大判でご覧いただけます。



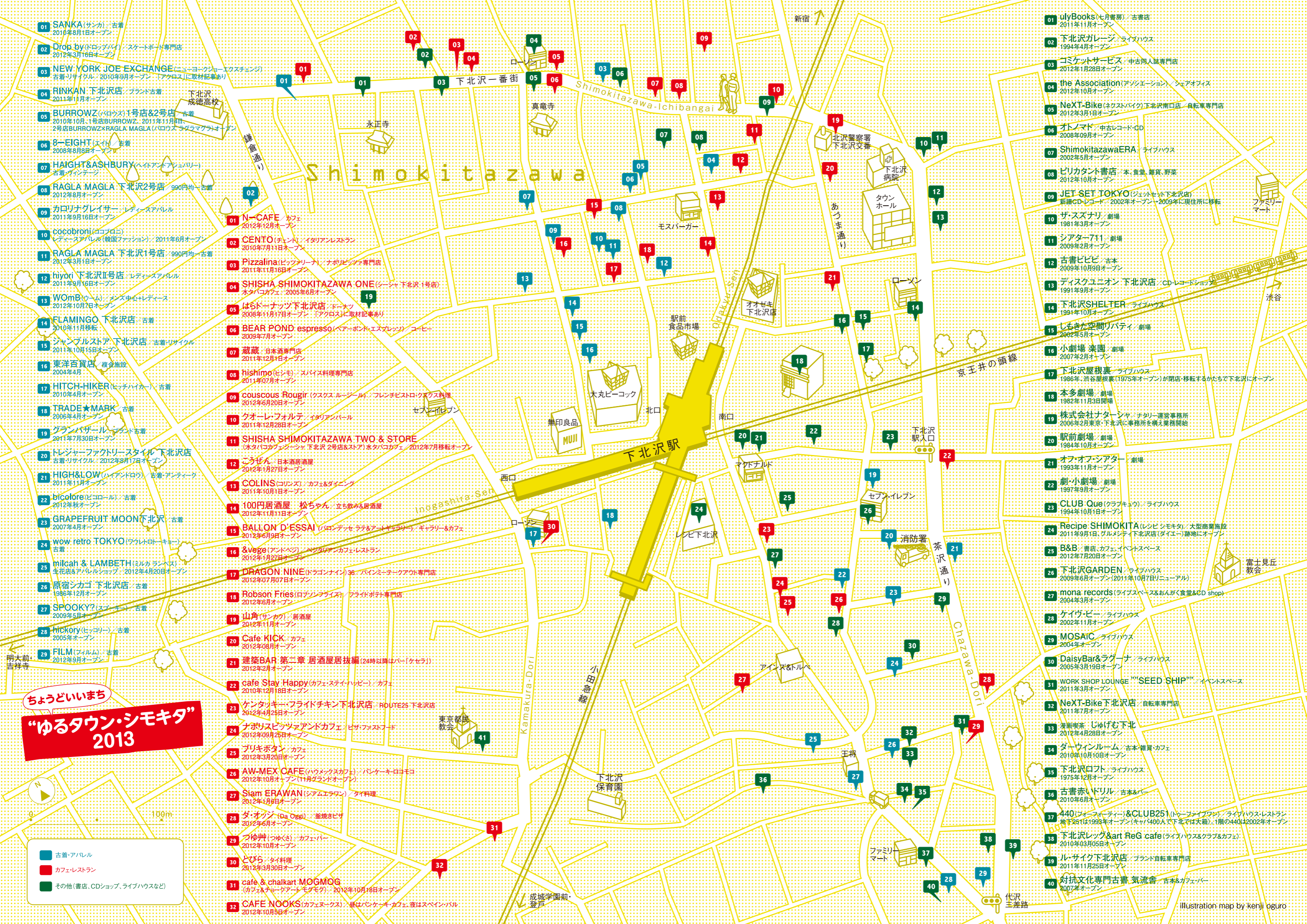
ちょうどいま “ゆるタウン・シモキタ” 2013

ジ)」「*1や、ガーリー感覚のセレクトが新鮮な女性店主の古書店「July Books/七月書房」*2など、既存の業態に新しい感覚を持ち込んだり、従来にないジャンルのミックス感が魅力のショップが出現。若い世代を中心に支持されている。ともに「ACROSS」本サイトに取材記事を掲載しているのでご覧ください。
さらに、住宅街の趣が強かった北口の路地にも、古着やアパレルのショップが増加しており、駐車場を改装して小割りの店舗とし、常に新しい若手起業家たちのショップで賑わう「東洋百貨店」などは、北口エリアに新しい人の流れを生み出している。

こうして新陳代謝が進んでいるものの、まちの印象が大きく変わっていないのは、既存の建物を生かしたりノベーショナルによる小規模なショップが多いからだろう。実際に下北沢のまちを歩くと、周辺に高級住宅街があるのにも関わらず、高級感を感じさせるようなショップは少ない。未だに残っている戦後〜昭和の駅前マーケットのように、個人な商いがあちこちに根を張って「毎日の暮らし」を感じさせるのが下北沢の個性であり、こうした実質本意のスタンスが、「シモキタ・カルチャー」とでも呼ぶような独特の文化圏を形成しているのである。

もう1つ、シモキタ・カルチャーを語る上で欠かせない要素が小劇場やライブハウスだ。マップでは「その他」ジャンルとして90年代まで遡ってプロットしたが、これを見るとゼロ年代以降もなお、小劇場やライブハウス、ライブカフェなどの「ライブスペース」が駅周辺でも増加していることがわかる。さらに隣の新代田駅にカフェを併せ持つライブハウス「FEVER」*3(2009年)のオープンや、ライブスペースやカフェとしての機能を持つギャラリー「commune」*4(2010年)など、「シモキタ文化圏」は今もなお拡大しているといえそうだ。
そんなシモキタ・カルチャーは、歴史的にみると、新宿と渋谷とい

う2つの街の変化の影響を同時に受け、変容してきたことがわかる(概念図参照)。
現在、小田急線の地下化とターミナルビルの新設、駅周辺の道路整備などの計画が進み、戦後からの名物であった駅前食品市場もまもなくその役目を終えようとしている。こうした再開発への住民からの反対運動も起こっているが、それが従来型の組織的な反対運動ではなく、曽我部圭一さんと岸田繁さん(くるり)らのクリエイターが先導する「save the 下北沢」だったり、「グリーンライン下北沢」のような、ソフトな運動になるところがいかにもシモキタらしい。



“ゆるタウン・シモキタ”
2013

- 古着・アパレル
- カフェ・レストラン
- その他(書店、CDショップ、ライブハウスなど)

- 01 SANKA(サンカ) / 古着
2010年8月1日オープン
- 02 Drop by(ドロップバイ) / スケートボード専門店
2012年3月16日オープン
- 03 NEW YORK JOE EXCHANGE(ニューヨークジョーエクスチェンジ)
古着リサイクル / 2010年9月オープン / 「アクロス」に取材記事あり
- 04 RINKAN 下北沢店 / ブランド古着
2011年11月オープン
- 05 BURROWZ(バロウズ)1号店&2号店 / 古着
2010年10月、1号店BURROWZ / 2011年11月4日、
2号店BURROWZ×RAGLA MAGLA(バロウズ×ラグラマグラ)オープン
- 06 8-EIGHT(エイト) / 古着
2008年8月8日オープン
- 07 HAIGHT&ASHBURY(ハイトアンドアッシュバリー) / 古着・ヴィンテージ
- 08 RAGLA MAGLA 下北沢2号店 / 990円均一古着
2012年8月オープン
- 09 カロリナグレイサー / レディースアパレル
2011年9月16日オープン
- 10 cocobroni(ココブロン) / レディースアパレル(韓国ファッション) / 2011年6月オープン
- 11 RAGLA MAGLA 下北沢1号店 / 990円均一古着
2012年3月1日オープン
- 12 hiyori 下北沢II号店 / レディースアパレル
2011年9月16日オープン
- 13 WOMB(ウーム) / オンス中心+レディース
2012年10月7日オープン
- 14 FLAMINGO 下北沢店 / 古着
2010年11月移転
- 15 シャンブルストア 下北沢店 / 古着・リサイクル
2011年10月15日オープン
- 16 東洋百貨店 / 複合施設
2004年4月
- 17 HITCH-HIKER(ヒッチハイカー) / 古着
2010年4月オープン
- 18 TRADE★MARK / 古着
2006年4月オープン
- 19 グランバザール / ブランド古着
2011年7月30日オープン
- 20 トレジャーファクトリースタイル 下北沢店
古着・リサイクル / 2012年8月17日オープン
- 21 HIGH&LOW(ハイアンドロー) / 古着・アンティーク
2011年11月オープン
- 22 bicolor(ビコロール) / 古着
2012年秋オープン
- 23 GRAPEFRUIT MOON 下北沢 / 古着
2007年4月オープン
- 24 wow retro TOKYO(ワウレトロキョウ) / 古着
- 25 milcah & LAMBETH(ミルカランベス) / 生花店&アパレルショップ / 2012年4月20日オープン
- 26 原宿シカゴ 下北沢店 / 古着
1986年12月オープン
- 27 SPOOKY?(スプーキー) / 古着
2009年5月オープン
- 28 hickory(ヒッコリー) / 古着
2005年オープン
- 29 FILM(フィルム) / 古着
2012年9月オープン

- 01 N-CAFE / カフェ
2012年12月オープン
- 02 CENTO(チェント) / イタリアンレストラン
2010年7月11日オープン
- 03 Pizzalina(ピッツァリーナ) / ナポリピッツァ専門店
2011年11月16日オープン
- 04 SHISHA SHIMOKITAZAWA ONE(シーシャ 下北沢1号店)
水タバコカフェ / 2005年6月オープン
- 05 はらどーナッツ下北沢店 / ドーナツ
2008年11月17日オープン / 「アクロス」に取材記事あり
- 06 BEAR POND espresso(ベアーポンド エスプレッソ) / コーヒー
2009年7月オープン
- 07 蔵蔵 / 日本酒専門店
2011年12月1日オープン
- 08 hishimo(ヒシモ) / スパイス料理専門店
2011年07月オープン
- 09 couscous Rougir(クスクス・ルージュ) / フレンチビストロ・クスクス料理
2012年6月20日オープン
- 10 クオーレ・フォルテ / イタリアンパル
2011年12月28日オープン
- 11 SHISHA SHIMOKITAZAWA TWO & STORE
(水タバコカフェ・シーシャ 下北沢2号店&ストア) / 2012年7月移転オープン
- 12 こうぜん / 日本酒居酒屋
2012年1月27日オープン
- 13 COLINS(コリンズ) / カフェ&ダイニング
2011年10月1日オープン
- 14 100円居酒屋 松ちゃん / 立ち飲み&居酒屋
2012年11月11日オープン
- 15 BALLON D'ESSAI(バロンデッセイ・ラテ&アート・ギャラリー) / ギャラリー&カフェ
2012年6月9日オープン
- 16 &vege(アンドベジ) / ベンチランニングカフェ・レストラン
2012年1月27日オープン
- 17 DRAGON NINE(ドラゴンナイン)36 / バインミー・テークアウト専門店
2012年07月07日オープン
- 18 Robson Fries(ロブソンフライズ) / フライドポテト専門店
2012年6月オープン
- 19 山角(サンカク) / 居酒屋
2012年11月オープン
- 20 Cafe KICK / カフェ
2012年08月オープン
- 21 建築BAR 第二章 居酒屋居抜編(24時以降はバー「ケセラ」)
2012年2月オープン
- 22 cafe Stay Happy(カフェ・ステイ・ハッピー) / カフェ
2010年12月8日オープン
- 23 ケンタッキー・フライドチキン下北沢店 / ROUTE25 下北沢店
2012年4月25日オープン
- 24 ナポリスピッツァアンドカフェ / ピザ・ファストフード
2012年09月25日オープン
- 25 プリキボタン / カフェ
2012年3月20日オープン
- 26 AW-MEX CAFE(ハワメックスカフェ) / パンケーキ・ドコモコ
2012年10月オープン(11月グランドオープン)
- 27 Siam ERAWAN(シアムエラワン) / タイ料理
2012年1月8日オープン
- 28 ダ・オッジ(Da Oggi) / 釜焼ピザ
2012年6月オープン
- 29 つゆ軒(つゆくさ) / カフェ・バー
2012年10月オープン
- 30 とびら / タイ料理
2012年3月30日オープン
- 31 cafe & chalkart MOGMOG
(カフェ&チャークアートモグモグ) / 2012年10月18日オープン
- 32 CAFE NOOKS(カフェヌークス) / 昼はパンケーキ・カフェ、夜はスペインバル
2012年10月5日オープン

- 01 ulyBooks(ウリーブックス) / 古書店
2011年11月オープン
- 02 下北沢ガレージ / ライブハウス
1994年4月オープン
- 03 コミケットサービス / 中古同人誌専門店
2012年1月28日オープン
- 04 the Association(アソシエーション) / シェアオフィス
2012年10月オープン
- 05 NeXT-Bike(ネクストバイク)下北沢南口店 / 自転車専門店
2012年3月1日オープン
- 06 オトノマド / 中古レコード・CD
2008年09月オープン
- 07 Shimokitazawa ERA / ライブハウス
2002年5月オープン
- 08 ビリカント書店 / 本、食堂、雑貨、野菜
2012年10月オープン
- 09 JET SET TOKYO(ジェットセット下北沢店)
新譜CD・レコード / 2002年オープン・2009年に現住所に移転
- 10 ザ・スズナリ / 劇場
1981年3月オープン
- 11 シアター711 / 劇場
2009年2月オープン
- 12 古書ビビビ / 古本
2009年10月9日オープン
- 13 ディスクユニオン 下北沢店 / CD・レコードショップ
1991年9月オープン
- 14 下北沢SHELTER / ライブハウス
1991年10月オープン
- 15 しもぎた空間リパティ / 劇場
2002年5月オープン
- 16 小劇場 楽園 / 劇場
2007年2月オープン
- 17 下北沢屋根裏 / ライブハウス
1986年、渋谷屋根裏(1975年オープン)が閉店・移転するがたちで下北沢にオープン
- 18 本多劇場 / 劇場
1982年11月3日開場
- 19 株式会社ナターシャ / ナターシャ運営事務所
2006年2月東京・下北沢に事務所を構え業務開始
- 20 駅前劇場 / 劇場
1984年10月オープン
- 21 オフ・オブ・シアター / 劇場
1993年11月オープン
- 22 劇・小劇場 / 劇場
1997年9月オープン
- 23 CLUB Que(クラブキュー) / ライブハウス
1994年10月1日オープン
- 24 Recipe SHIMOKITA(レシピシモキタ) / 大型商業施設
2011年9月1日、グルメシティ下北沢店(ダイエー)跡地にオープン
- 25 B&B / 書店、カフェ、イベントスペース
2012年7月20日オープン
- 26 下北沢GARDEN / ライブハウス
2009年6月オープン(2011年10月7日リニューアル)
- 27 mona records(ライプスペース&おんがく食堂&CD shop)
2004年3月オープン
- 28 ケイヴ・ビー / ライブハウス
2002年11月オープン
- 29 MOSAIC / ライブハウス
2004年オープン
- 30 Daisy Bar & Lager(ダイジーバー & ラゲル) / ライブハウス
2005年3月19日オープン
- 31 WORK SHOP LOUNGE ""SEED SHIP"" / イベントスペース
2011年3月オープン
- 32 NeXT-Bike 下北沢店 / 自転車専門店
2011年7月オープン
- 33 漫喫喫茶 じゅげむ下北
2012年4月28日オープン
- 34 ダーウィンルーム / 古本・雑貨・カフェ
2010年10月10日オープン
- 35 下北沢ロフト / ライブハウス
1975年12月オープン
- 36 古書赤いドリル / 古本&パ
2010年6月オープン
- 37 440(フォーフォーティ) & CLUB251(トッパファイブワン) / ライブハウス・レストラン
地下251は1993年オープン(キャパ400人で下北では大箱)。1階の440は2002年オープン
- 38 下北沢レック&art ReG cafe(ライブハウス&クラブ&カフェ)
2010年03月05日オープン
- 39 ル・サイク下北沢店 / ブランド自転車専門店
2011年11月25日オープン
- 40 対抗文化専門古書 気流舎 / 古本&カフェ・バー
2007年オープン